

事業概要【立山町民カード化構想】

実施地域	富山県立山町	事業費	135,154千円
実施主体	富山県立山町	人口	24,948人（R4.12.1時点）
事業概要	<p>【実現したい地域像】 「高齢者や子どもたちにとって、『やさしい』マイナンバーカード」 立山町では、後期高齢者等の運転免許不保持者に対し、令和元年10月から、マイナンバーカードと連携させた地域通貨「たてやまポイント」により、376人に対しタクシーや町営バスの運賃助成を行ってきた。また、図書館カード（12,620枚）についても、マイナンバーカードで利用できるような新たなシステムを令和5年2月に導入することにした。 その他の住民サービスにおいても、マイナンバーカードを活用し、町民が行政サービスの「便利さ」と「豊かさ」を実感できる「やさしい」まちを実現する。</p>		

取組内容

【マイナンバーカード対応記帳台】

マイナンバーカード対応記帳台を導入し、個人情報が入力された申請書が出力され、住民の「書かない」をサポートする。

【図書館予約本受取ロッカー】

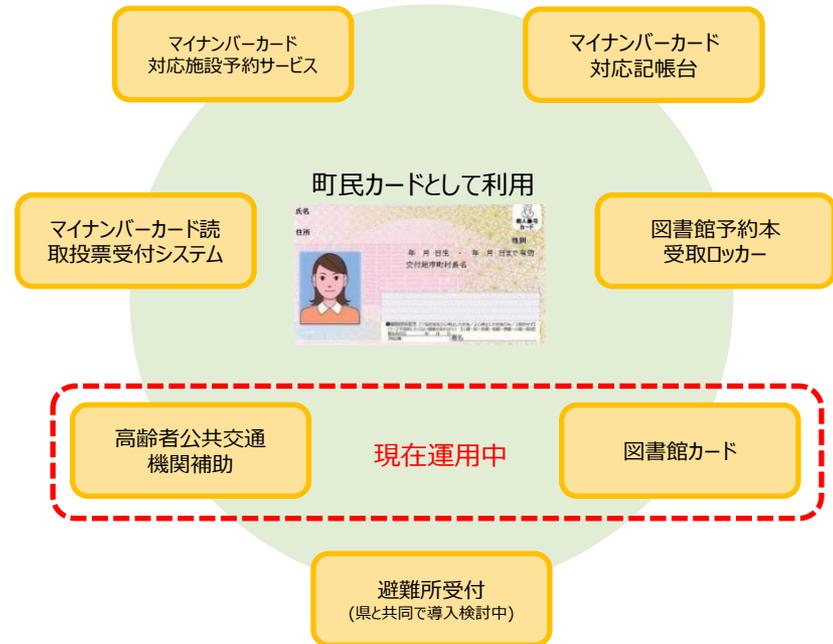
休館時・図書館外での予約本受取を実現し、図書館サービスを向上する。

【マイナンバーカード読取投票受付システム】

マイナンバーカードの読み取りにより、待ち時間なく、宣誓書記載もない、スムーズな投票を実現する。

【マイナンバーカード対応施設予約サービス】

公共施設予約をオンライン化し、予約受付・支払い・鍵管理・レポートをワンストップで実現する。



サービス概要 (1/4)

■ サービス内容

サービス名	マイナンバーカード対応記帳台	事業費	17,083千円
ターゲット	マイナンバーカードの所有者		
展開エリア	富山県立山町		

サービス内容 (事業分野：①行政サービス)

- ✓ 住民が自治体窓口で各種手続きを行う際、申請書に氏名や住所などを何度も記入する手間がかかっているが、マイナンバーカード対応記帳台に、マイナンバーカードや免許証を挿入することで、カードの基本情報を読み取り、氏名、住所、生年月日、性別（マイナンバーカードのみ）の情報が印字された申請書が印刷される。
- ✓ 一度に複数種類の申請書を、基本情報記入済みの状態で出力することができ、書き損じの心配もないことから、マイナンバーカードを活用して住民の「書かない」をサポートすることができる。
- ✓ 常時用意しておく必要のあった申請書類もすべて1台にまとめることができ、どの申請書に何を記載しなければならないか迷うことなく申請書の作成が可能となる。
- ✓ マイナンバーカード等を所持していない方に対しても、未記入の申請書を出力することができるため、全ての住民が利用可能であり、開庁前の申請書の印刷・準備をする職員負担も軽減できる。
- ✓ LINEもしくは専用WEBフォームで申請に必要な情報を事前入力することにより、QRコードが作成される。そのQRコードを記帳台側のリーダーにかざすことでマイナンバーカードに格納されていない情報（世帯の情報や口座情報など）も印字できる。また、事前にLINE等で情報を入力していた場合には、申請者だけでなく、世帯内のその他情報も同時に印字され、住民の「書かない」をよりサポートすることができる。

【対象となる申請書】

住民課、税務課、健康福祉課において個人情報の記入を求めるもの
(各課20種類まで設定可能)



サービス概要（2/4）

■ サービス内容

サービス名	図書館予約本受取ロッカー	事業費	10,835千円
ターゲット	マイナンバーカードを所有する図書館の利用者		
展開エリア	富山県立山町		
サービス内容（事業分野：①行政サービス）			

- ✓ 予約貸出ロッカーにマイナンバーカードをかざすことで、利用者がオンラインで予約した本を休館時や図書館外で受け取ることができる。
- ✓ 予約された本はロッカー投入から「取出」されるまでの日にち管理及び期限切れを管理でき、利用者は窓口で本を借りる際と同様の利用が可能である。

マイナンバーカードを利用して、図書の貸出しをスマート化。



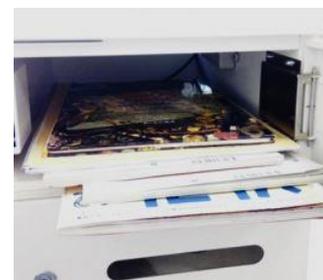
本予約



予約貸出ロッカー



マイナンバーカードをかざす



ロッカー開扉

サービス概要 (3/4)

■ サービス内容

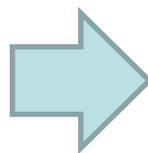
サービス名	マイナンバーカード読取投票受付システム	事業費	38,236千円
ターゲット	マイナンバーカードを所有する住民		
展開エリア	富山県立山町		
サービス内容 (事業分野 : ①行政サービス)			

- ✓ マイナンバーカード利用により、待ち時間なく、宣誓書記載もない、スムーズな投票を実現できる。
- ✓ マイナンバーカードを読み取ることにより、「利用者ID」に紐づいた対象者の資格情報等を画面に表示し、宣誓書を出力、投票用紙を交付することができ、期日前投票及び当日投票において、二重投票の防止につながる。

宣誓書記載内容説明
住民の誘導
システムへの受付登録…



時間帯によっては行列に！



マイナンバーカードを
かざして受付終了！

二重投票の防止！

サービス概要 (4/4)

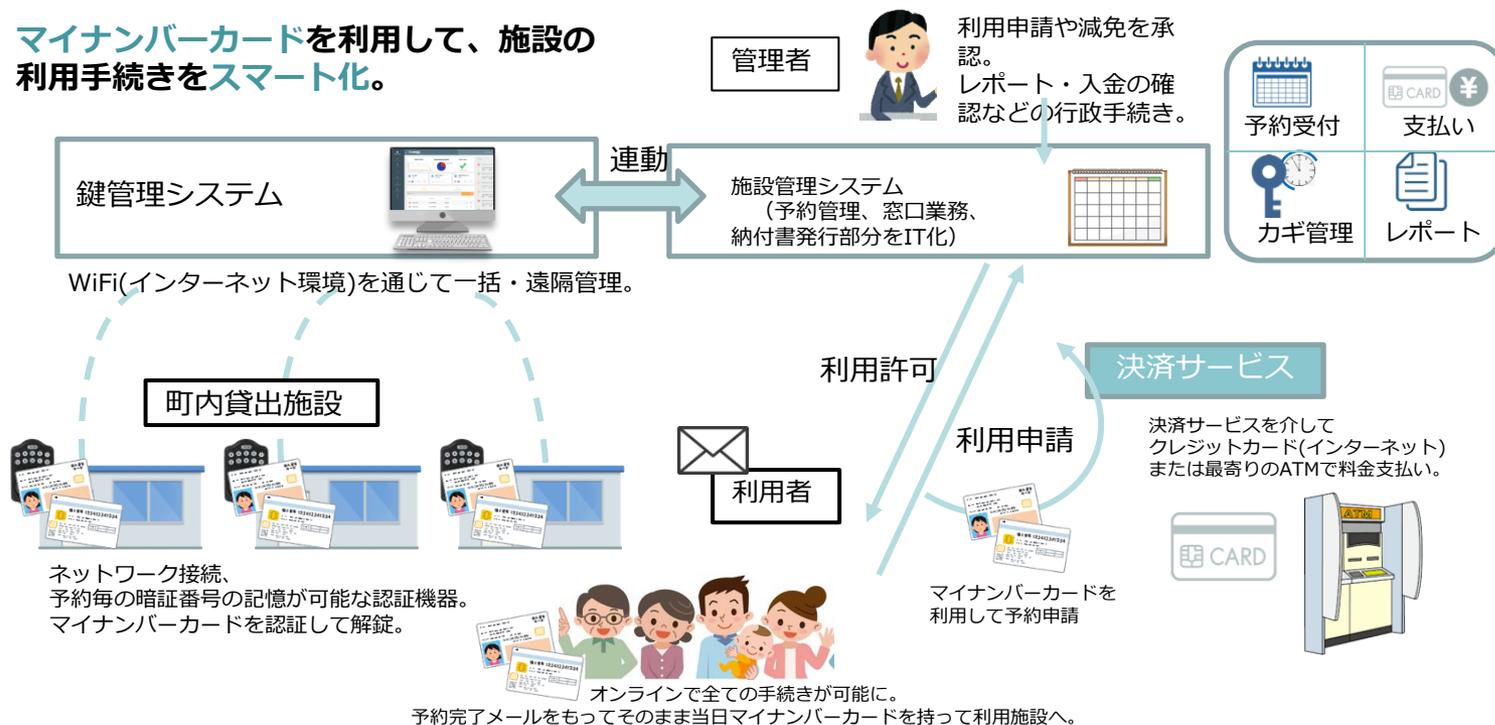
■ サービス内容

サービス名	マイナンバーカード対応施設予約サービス	事業費	69,000千円
ターゲット	立山町在住者の施設を利用する者		
展開エリア	富山県立山町		

サービス内容 (事業分野：②住民サービス)

- ✓ 公共施設の予約や決済をオンラインで実施できるサービスの導入により、町民が来庁しなくても施設予約が可能となる。
- ✓ また、施設の鍵をマイナンバーカードにすることで、町民はマイナンバーカードを利用して施設利用が可能となる。

マイナンバーカードを利用して、施設の 利用手続きをスマート化。



事業概要【マイナンバーカードとデジタルで実現する、公共サービス再編と地方再生のモデル構築】

実施地域	富山県朝日町全域	事業費	289,227千円 <small>(P4-11サービス1~6に加えて、データ基盤・データ分析など施策全体に関わる費用の合計金額)</small>
実施主体	富山県朝日町・株式会社博報堂	人口	10,974人

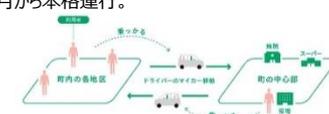
事業概要
 消滅可能性都市「朝日町」をデジタルの力で「夢と希望がもてる朝日町」に！ = 人口5万人未満自治体(全国の約7割)のモデルに！
 高齢化・人口減少による生活インフラの再編は日本の地方部の共通課題。行政だけでなく**地域コミュニティ**を活かした**共助・共創型**のサービス構築を拡張するとともに、**生活インフラ全体でのデジタル活用**を拡大。マイナンバーカード活用で、**まち全体の需要データを獲得し、供給の最適化や公共コスト削減**を目指す。既に実績のあるノッカルやポHUNT等の知見も活かし、**地域コミュニティ全体が前向きに取り組む社会課題解決や公共サービス再編を実現、全国各地に水平展開できる地方代表となるモデル**を構築する。

取組内容 公共サービス全体への「みんなんばーカード」の導入で、公共サービス再編と地域活性化を実現

令和4年度までの取り組み

共助・共創サービス構築とデータ連携基盤構築

ノッカルあさひまち（共助型マイカー交通）
 「移動に困っている人」と「地域に貢献したいドライバー」をデジタルでマッチングし、ドライバーのマイカーで運行する公共交通。実証実験を経て、2021年10月から本格運行。



ポHUNT（共創型地域活性ポイント）
 町の活性のために、移動・消費・健康活動を促進する、町全体のデジタルポイントサービスを2022年10-12月に実施。全住民の10%以上が参加し、移動・消費・健康活動が増えるとともに、行動データを獲得。



みんななび（共助型教育サービス）
 自分が教えられることを教え、学びたいことを学び合う、共教育マッチングサービス。2022年10月より子供の学習にフォーカスして実施。



令和5年度の取り組み

「みんなんばーカード」による、公共サービス全体でのデジタル利用・決済の導入 ～人口減少社会における生活インフラの再構築をマイナンバーカード活用によるデータの地産地消で目指します～

既存共助サービス拡張 (昨年度Type3活用)

新規の共助・共創サービス

- 「みんななび」
- EV充電サービス「HXChange」
- 「デジタル探求教室」
- 学校内の総合学習
- 地域教育「みんななび」
- 地域交通「ノッカル」
- 地域活性「ポHUNT」

生活インフラ全体への拡大

- 学校・児童クラブなど 教育全体への拡大
- バスやタクシーなど 交通全体への拡大
- 商業活性全体への拡大 商品券や施設利用券など

マイナンバーカードを活用したデジタル基盤

「みんなんばーカード」

公共サービスの利用 & 決済ができる統合サービス：マイナンバーカード×QRデジタル決済

- ・既存サービスの拡張を軸にしながら、新たなサービス実装や既存の生活インフラ全体へのDX発展
- ・公共サービス全体のデータ取得基盤としてマイナンバーカードを活用した「みんなんばーカード」を開発
- ・各利用・決済データを取得することで町まるごとの需要を把握、供給の適切化で公共コストを低減
- ・公助だけに頼らない、地域コミュニティを活用した共助サービス拡張でコスト削減とコミュニティ強化を実現

サービス概要 (1/6)

■ サービス内容

サービス名	朝日町公共サービスパス「みんなんばーカード」	事業費	96,107千円
ターゲット	朝日町民		
展開エリア	富山県朝日町		

サービス内容 (事業分野：①行政サービス)

町の生活インフラすべてを利用でき、住民全世代が使えるカード型の公共サービスパス：地方公共サービスのDXモデルに！

- ・令和3年度からの地域交通ノッカル・地域活性ポHUNT、地域教育みんななびを、生活インフラ全体・住民全体へ拡大し、既存公共サービスも含めた町まるごとデジタル化を行う
- ・個人のマイナンバーに紐づいたQRコードを発行し、マイナンバーカードやカードケースに貼付して全住民に保有してもらい生活DXプラットフォームに ※カード型での発行も可能
- ・利用者がQRコードを各施設側で提示する(QR読み込み)ことで利用ログの取得や決済ができ、また、行政から遠隔での利用バス付与も可能
- ・子ども世代・アクティブ世代・高齢者世代、それぞれ世代の行動やニーズに合わせたサービス設計・拡張を行い、地域全体でのデータの地産地消を目指す



子ども (幼保～学生)

共助



アクティブ世代
(20代～60代)

共助

高齢者 (70代以降)



※数字は令和4年度までの実績



朝日町公共サービスパス「みんなんばーカード」

マイナンバーカード×QRデジタル決済 / LINEによる利用/予約サービス×情報配信



子どもバスを各サービス利用時に読み取り
授業・登下校・校外活動の記録・見守り

- ・放課後児童クラブ・児童館利用 (8,466人/年)
- ・スクールバス利用 (42,990人/年)
- ・小学校/中学校登校 (588人)
- ・防犯ブザー



公共施設利用バスを利用時に読み取り
商品券のデジタル化でデジタル決済

- ・らくち～の/サンリーナ利用 (約24万人/年)
- ・マイカー登録台数 (約8,000台)
- ・地域商品券利用 (77,314枚/年)
- ・図書カード/美術館バス



シルバーパスのデジタル化でデジタル決済
福祉施設・病院での記録・見守り

- ・シルバーパス(10,721枚/年)
- ・バス/タクシー利用 (約52,000人/年)
- ・福祉/病院利用 (約14万人/年)
- ・病院診察券/予約の仕組み化



プレミアム商品券発行などと合わせた朝日町内全域での地域通貨としての活用 (各商業施設などでの決済端末の整備が必須)

地域通貨への拡張

地域商品券/プレミアム商品券の延長として、将来的な地域通貨への拡張を目指す：朝日町内の民間商業施設等での利用を想定



サービス概要 (2/6)

■ サービス内容

サービス名	地域交通サービス（ノッカル・バス・タクシー）	事業費	39,200千円
ターゲット	運転できない高齢者・子ども等／マイカーユーザー／交通事業者		
展開エリア	富山県朝日町		
サービス内容（事業分野：⑥交通・物流）			

町内の全公共交通を1つの統合サービスとして提供、公共交通再編・コスト削減・地域活性を実現

ノッカル単体でなく、まちの公共交通全体へ拡大することで、地域交通再編＆利用促進のモデル化へ

昨年度からの拡張

利用者約1,300人/年 ドライバー約1,000人/年
バス券1,886枚/年 タクシー券178枚/年
ドライバー報酬商品券約120枚/年

1. ノッカルあさひまち（新たな移動課題への対応）



新規 1-1. デジタル決済

- ・スマホでカードを読み取り支払い
- ・ドライバー報酬を商品券パスに



拡張 1-2. 自治会ノッカル

- ・自宅から地区公民館への移動
- ・自宅から地区の集いの場への移動
- ・自宅から近所の友人宅への移動



拡張 1-3. こどもノッカル

- ・小学校スクールバス補完
- ・児童クラブ/児童館/習い事連携
- ・中学生の冬の送迎/高校生の駅送迎



拡大

3. 統合サービスとしてのデータ一元化

3-1. みんなんばーカード (デジタル決済)

3-2. MaaSシステム (LINE予約)

拡大

今年度からの取組



利用者のべ約20,200人/年 バス券約9,400枚/年 タクシー券約1,300枚/年

新規

2-1. 交通パス×「みんなんばー」

- ・LINEで時刻表・運行状況確認
- ・車内設置機器にカードをかざし支払い
- ・乗車情報を家族や保護者に通知



今年度からの取組



利用者のべ約31,800人/年 タクシー券約8,500枚/年

新規

2-2. LINE予約×「みんなんばー」

- ・LINEでタクシー予約
- ・車内設置機器にカードをかざして支払い
- ・乗車情報を家族や保護者に通知



サービス概要 (2/6)

■ サービス内容

サービス名	地域交通サービス（ノッカル・バス・タクシー）	事業費	39,200千円
-------	------------------------	-----	----------

町内の全公共交通を1つの統合サービスとして提供、公共交通再編・コスト削減・地域活性を実現

1. ノッカルの拡張【新たな移動課題への対応】

昨年度からの拡張

- 1-1. デジタル決済：国交省が推進するマイカー公共交通を完全デジタルパッケージ化することで、**全国への汎用プラットフォーム**にしていく
- ・利用者の支払い方法を、紙のバス券から**みんなんばーカード**に切り替え、年間約2000枚のチケット印刷・販売のコストを削減。
 - ・住民ドライバーへの報酬を、紙の商品券から**みんなんばーカード**に切り替え、年間約120枚の商品券印刷・引き換えコストを削減。
- 1-2. 自治会ノッカル：高齢者コミュニティに対応し、**全国的な交通課題**になっている**マイクロ移動**(バスやタクシーでは無理な近距離移動)を担う
- ・集落内で移動できる路線を新設、より**生活圏に合わせた近距離移動**も可能に。**外出機会を増やし地域コミュニティ活性化**を実現する。
- 1-3. 子どもノッカル：教育格差に直結する**地方の子ども送迎課題**を解決するため、**スクールバス**や**児童クラブ**と連携し**全国汎用モデル化**を狙う
- ・児童クラブ・児童館・習い事の送迎路線を新設し、スクールバスを補完。**親世代の送迎負担減**や**子供の機会拡張**に繋げる。
 - ・高校廃校に伴う高校生の駅までの移動、中学生の冬（降雪時）の自転車通学代替の送迎サービスを用意。新しい世代の促進。

2. バス・タクシーの利便性向上【交通バスのデジタル化とLINE予約】

今年度からの取組

- 2-1. 交通バスの「みんなんばーカード」集約：全国的に課題になっている「**公共交通コスト増大**」への対策として、今後の交通計画にも活用する
- ・既存のバス券・タクシー券・交通補助券（シルバーパス・マタニティパス）をみんなんばーカードに集約し、**年間約19,000枚のチケットコスト削減**。
 - ・**交通乗車券をデジタル上で遠隔付与**することが可能となり、窓口での購入や引き換えが不要に。利用データは**交通計画に活用しコスト削減**へ。
 - ・リアルタイムでの利用データが取得できるため、家族や保護者に向けた見守り通知も可能。**年間のべ約5万人の利用者の見守り**が可能に。
- 2-2. LINE予約の実装：**地方部の小規模事業者**では難しい**デジタル予約サービス**を実現し、LINE活用で低価格提供が可能モデルを実現する
- ・従来の電話予約だけでなく、**LINEからの予約や情報取得ができる仕組み**も合わせて整え、**新しい世代の利用促進・地域活性化**を実現する。

3. 統合サービスとしてのデータ一元化【LINEとみんなんばーカードの活用】

- 3-1. 「みんなんばーカード」での交通全体の決済デジタル化・共通化：**全公共交通の利用・決済記録を需要データとして獲得し交通再編**に繋げる
- ・交通全体で「みんなんばーカード」を活用し**決済手段もデジタル化で統一**。**交通横断の利用データ**として需要把握し交通計画のベースに
- 3-2. 交通横断でのLINEサービスで予約や情報発信のデジタル化・共通化：**情報発信や予約サービスもデジタル化し全国汎用モデル**を実現する
- ・既存の電話予約や紙の時刻表に加えて、**交通全体の予約や情報発信**をLINEサービスとして共通化。**利用促進による地域活性化**へ。

サービス概要 (3/6)

■ サービス内容

サービス名	地域教育サービス（みんななび・デジタル探求教室）	事業費	33,200千円
ターゲット	子育て世代・子供/学校・児童クラブ		
展開エリア	富山県朝日町		

サービス内容（事業分野：③教育）

子どもの学びや体験コンテンツを、まち全体の力で再構築し、地方だからできる豊かな学習・子育て環境の実現へ
学校教育やアフタースクール教育と連携し、放課後教育モデルの再編を行い、こども家庭庁が掲げるサードプレイス戦略の汎用モデル化を目指す
また、みんななび単体ではなく学校の登下校へも拡大し、全国的にニーズの高い見守り機能のモデル化も目指す

昨年度からの拡張



1. みんななび（地域の共教育サービス）

会員登録数：208人（小学生全364人）
講義参加者数：のべ156人（17回講義開催）
※昨年秋サービスローンチ/2月3日現在

新規 共助型サービス×「みんななび」
講座参加時にカードを読み取りチェックインすることで、
保護者への見守り通知・こどもパスでの支払い・データ蓄積を行う

拡大

今年度からの取組

2. 放課後児童クラブ・児童館・習い事

児童クラブ：のべ5,466人/年 児童館：のべ約3,000人/年
スイミングスクール：のべ111人/週

新規 カリキュラム構築×「みんななび」
施設来訪時にカードを読み取りチェックインすることで、
見守り通知・データを活用したカリキュラムを蓄積



拡大

5. みんななびカードでの 子どもの学び・体験データの一元化



今年度からの取組

3. スクールバス・登下校

年間利用者数：のべ42,990人
登下校児童数：588人（小・中学校）



新規 見守り×「みんななび」
乗車・登下校時にカードを読み取りチェックインすることで、
保護者への見守り通知を発信

今年度からの取組

4. デジタル探求教室

小学生：364人（全2校全生徒数） 中学生：224人（全1校全生徒数）
昨年講義実績：50人（町内小学校全2校の6年生対象）

新規 ICT教育×「みんななび」
「みんななびカード」で蓄積したデータを活用し、
カリキュラム構築・総合学習のプログラムを体系化を行う



サービス概要 (3/6)

■ サービス内容

サービス名	地域教育サービス（みんななび・デジタル探求教室）	事業費	33,200千円
-------	--------------------------	-----	----------

子どもの学びや体験コンテンツを、まち全体の力で再構築し、地方だからできる豊かな学習・子育て環境の実現へ

1.みんななび【共教育サービス】：こども家庭庁の主要テーマ「子どもの居場所づくり＝サードプレイス」の具体化とコンテンツの最適化

- ・地域コミュニティによる共教育サービスで、地域住民や事業者が講師として土地ならではの学びや体験コンテンツを提供。（令和4年度のべ156人参加）
- ・「みんななびカード」でチェックインを行い、講座参加ログデータを取得し、蓄積。チェックイン情報をもとに、保護者への見守り通知を送信
- ・参加費を子どもの「みんななびカード」読み取りで決済／講師の報酬を商品券パスとして「みんななびカード」で付与

昨年度からの拡張

2.放課後児童クラブ・児童館・習い事【カリキュラム蓄積】：みんななび単体ではなく全国的な児童クラブ等との連携で汎用モデル化

- ・共教育を既存の放課後事業等にも拡張し、施設来訪時にカードでチェックインを行い、保護者への見守り通知を送信
- ・チェックイン情報を基に、子どもの興味（習い事やイベントの内容）やカリキュラムのデータを蓄積

今年度からの取組

3.スクールバス・登下校【見守り】：地方部で一般化しているスクールバスへの活用と見守りサービスとしての提供

- ・スクールバス乗降時や登下校時にカードでチェックインを行い、保護者への見守り通知を送信
- ・全国的に問題となっている、スクールバスへの児童置き去り問題の解決策として、安心安全な登下校モデルを構築

今年度からの取組

4.デジタル探求教室【ICT教育】：学校のICT教育基盤の最大活用を目指しデジタル上でコンテンツを提供

- ・「みんななびカード」で蓄積したデータを活用し、子ども一人一人の興味関心や体験に合わせたカリキュラム構築
- ・「みんななびカード」で蓄積したデータを活用し、ICT教育や総合学習のコンテンツ作りに活用し、プログラムの体系化を行う

今年度からの取組

5.「みんななびカード」での子どもの学び・体験データの一元化：家庭・学校・サードプレイス全体での子育て環境の再編へ

- ・各種教育サービスや学校の入退場ログを「みんななびカード」によるチェックインで取得し、保護者に見守り通知
- ・子どもの学びデータが一元化されることで、教育機関・教員が教育プログラム構築に学びデータを活用し、子どもの機械拡張を目指す。
学校外での体験や興味関心を踏まえた学校教育に繋げていく

サービス概要 (4/6)

■ サービス内容

サービス名	ポHUNT (地域活性ポイントサービス)	事業費	30,800千円
サービス内容			

ポイントをきっかけに移動・健康・環境活動・地域交流を活性化するサービス

- ・町中や公共交通に設置されたQRの読み込みや各種コンテンツ利用でポイントを獲得できるポイントサービス。
- ・ポイントは景品抽選への応募に利用。景品コストの捻出が必要で持続的な実施に課題。
- ・今年度はポイントの用途を拡張し、他サービスでの利用やプレミアム商品券の優先購入権・町アセット利用の景品化でコストを抑える。



朝日町LINEからアクセス可能なLINEアプリ
様々なミッションで得たポイントで
朝日町の特産品等が当たる抽選に応募。



移動

町中のQR読取で活性化

町中の施設や公共交通機関に設置されたQRを読み込むことで、ポイントをGET。
クーポンの配信も実施。



健康活動

歩数計測機能で活性化

目標歩数を達成するとポイントGET。
健康セルフチェックやクイズ、健診受診状況の報告に関するミッションも実施。



環境活動

脱炭素可視化で活性化

脱炭素に繋がる活動のセルフチェック実施で、ポイントGET。
同時に脱炭素量の可視化も。その他クイズコンテンツも実施。



交流

互いのQR読取で活性化

ユーザー固有のQRを他のユーザーが読み取ることでポイントGET。
ポHUNT参加者同士や施設スタッフとの交流を促進。



行政協力

アンケートへの参加促進

町の各課が取りたいアンケートをポHUNTと連携することで、簡易に実施可能。
ウェルビーイング調査も実施。



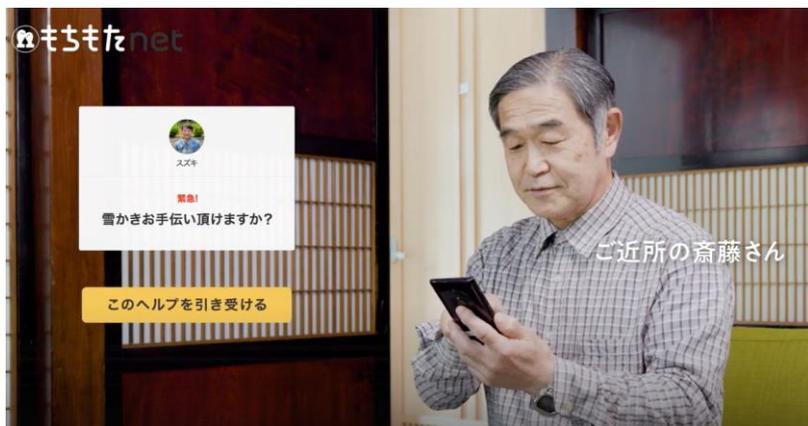
サービス概要 (5/6)

■ サービス内容

サービス名	もちもたnet (共助マッチングプラットフォーム)	事業費	45,200千円
サービス内容			

地域内での困りごと解決や地域活動を増やすための共助マッチング掲示板プラットフォーム

- ・共助で住みやすい街づくりを目指した新たなサービスを構築し、買い物代行や雪かきの依頼、道具の貸し借り等を円滑にする。
- ・前述したポHUNTのポイントと連携し、助けられる側は助ける側にポイントをお礼として支払う。



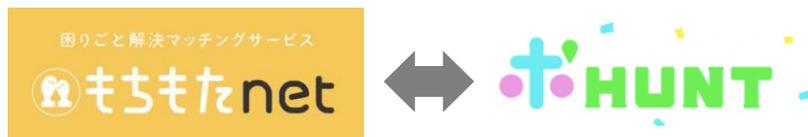
LINE

掲示板が使えない高齢者の投稿や助ける側への通知を行うためのLINE



掲示板

もちもたnetのメイン画面



ポイント連携・共通化

※画面はイメージ

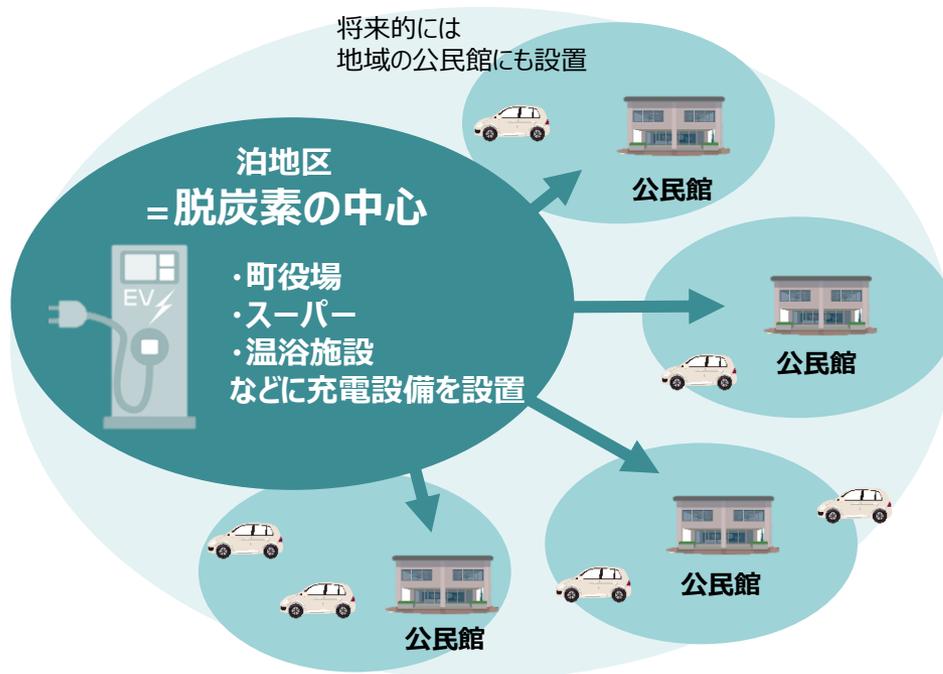
サービス概要 (6/6)

■ サービス内容

サービス名	エネCharge (エネルギー地産地消サービス)	事業費	36,600千円
サービス内容			

地域コミュニティ単位でのエネルギー地産地消を実現する、再エネ充電スポット+LINE予約サービス

- ・脱炭素に向けて町内の**8000台以上の車が将来的にすべてEV化**していくが、現状ではEV化が進んでも**町内に充電設備がほほない状態** (マイカー約8000台/公用車約80台/スクールバス8台/コミュニティバス3台/タクシー10台)
- ・**地域コミュニティでのエネルギー地産地消**を進めるために、公民館などの地域コミュニティ拠点に設備を用意する必要あり
- ・最初のステップとして、需要の多い中心部からチャレンジし、**LINEで予約でき、「みんなんばーカード」で利用できるEV充電サービスを開発**



LINE エネCharge マイページ

朝日町役場 **空** 予約する

五叉路 **満** 予約不可

混雑予測

今日	明日
00:00~06:00 80%	00:00~06:00 20%
06:00~12:00 30%	06:00~12:00 20%
12:00~15:00 50%	12:00~15:00 40%
15:00~18:00 70%	15:00~18:00 70%
18:00~24:00 80%	18:00~24:00 80%



エネCharge マイページ

5回利用を達成しました！
商品券バス1枚獲得

履歴を見る

LINEから予約・混雑状況把握

再エネ利用でインセンティブ付与
※独自財源

※画面はイメージ